

2023-24 年度『0416 地区研修・協議会』

【報告内容】 幹事・会計部会

分科会にて、グループディスカッションを行いました。

各クラブにおける現状などを踏まえ、様々な視点から多くの意見交換を行いましたので報告いたします。

1、あなたのクラブで幹事は主にどのような役割を担っていますか。

- ・クラブのまとめ役（情報発信、全ての情報は幹事を通して行う）
- ・幹事報告（各委員会の取りまとめ、年間行事作成）
- ・役員会の議事進行、議事録作成
- ・他クラブとの交流
- ・例会のまとめ（運営・案内、プログラムの作成、情報発信）
- ・例会の段取り（会場手配、交渉、案内作成、提出物、予算等の作成、出欠、各種届出）
- ・事務手続き（会計と確認しながら出金）※事務に依存しないようにする
- ・会員記録の整理、保存
- ・会長とペア（会長補佐）＝相談、フォロー
- ・楽しく会を運営できるよう心掛ける/例会の雰囲気（環境）を作る/中心人物
- ・理事会の招集、開催（会場手配準備、進行役、議事録作成、事務局との調整、テーマ決め）
- ・会長（幹事）経験者がやっている
- ・会社と一心同体でクラブ運営に努める立場
- ・事業関係の調査
- ・IMの取り仕切り（準備等）

※人数の少ないクラブは、役割を分担し全員で運営している

※クラブによっては、幹事の引継書がある

2、会長とどのように協力しますか。

- ・規定を理解し助言する
- ・会長指示のもと小まめな調整をする（文書の連絡、段取りを全て行う）
- ・「YES」「はい」「よろこんで」
- ・会長との信頼関係を構築（大切に）し、会長の方針に基づいて運営していく
- ・ロータリーの基本を大切にし、会長と協力し運営していく
- ・会員の意見を会長に伝える（秘書のような役割、会員と合意形成を図り会長を支える）
- ・実務を担う、会長の意図を組んで自分たちで行動する
- ・お互いの仕事を上手に分担していく
- ・全員との情報共有を意識する
- ・組織委員の配置決め
- ・幹事経験者の会長に学びながら支えていく
- ・会務全体を把握する（会計等の把握含む）
- ・連絡のやり取りを行う
- ・会長の意見を尊重しながらスムーズに運営していく
- ・次年度や周年行事に向けての取り組みを行う
- ・会長の右腕となって取り組む、全面的に支援する、会長と相談しながら会員のために動く
- ・会の変改に取り組む
- ・会長の補佐に徹する
- ・会の全体を動かす
- ・現幹事との引継ぎをきちんと行い、会を進行していく
- ・会長との関係性を築きながら物事をどんどんと開いていく
- ・次年度、次々年度への継承まで考えて、会長と進めていく
- ・事務局が幹事のサポートをしてくれている
- ・会長との信頼関係を築く（会長に同行、飲み会での親睦など）
- ・会長と幹事のバランスを大事にする

※クラブによって人数構成が違うので、協力の仕方は様々…

- ・会員数の少ないクラブ→会長と芝に同じ方向性を持って進んでいく
- ・会員数（20名）→理事会と例会が一緒のようなもの、全員の協力がないと難しい
- ・会員数（60名）→各委員会の予算の在り方を検討する（会費の節約）
 - 会長方針の下で幹事が進める
 - 会長・幹事・委員長と分業し運営

3、幹事としてクラブの各委員会をどのように支援できるでしょうか。

- ・アドバイスをする
- ・幹事と委員長と相談する
- ・委員長のみに偏りがちなところを、委員も参加してもらえよう助言する
- ・委員長と幹事のライングループを作り、情報を共有している
- ・委員会の中でもライングループを作って、役割分担などの確認をしている
- ・例会の進行をSAAにまかせる
- ・各委員会と常に協力してやっていく、委員会の意向を確認し効率の良い運営を支援する
- ・予算の調整、事務局との連携
- ・会長と相談して支援する
- ・新しいことを取り入れる
- ・ロータリアンの参加促進（例会/委員会/行事への出席率を上げる、要請する）
- ・委員会の執行権を持つ、決めごとの中心
- ・情報の共有に特に務める
- ・奉仕活動への支援、イベント参加動員
- ・委員会が自立しているので、委員長のフォローをする
- ・様々なアイデアをサポートしていく
- ・会員の卓話を盛り上げられるよう会長と相談し支援していく
- ・各委員長に任せている ※必要時サポート
- ・スリープ会員の方が新委員長になった委員会には補佐役として手伝う
- ・各委員会のフォロー（例会に出席しないメンバーもいるため）
- ・先輩からの助言を参考に動いていく（各委員会の行事含む）
- ・クラブの方々と協力しながら効率よく進めていく
- ・年間スケジュールを気にかける（予算等の割り振りも）
- ・理事会開催のサポート
- ・「スマイルBOX」等を活用し運営
- ・各委員会に（事前に）予算の聞き取りを行い支援

※会員が少ないクラブ（活動できる会員が少ないクラブ）

- ・全委員会のフォローに回る
- ・会長、幹事が各クラブを兼任
- ・人数により予算規模が違う為、支援というよりは運営で手一杯

※会員が多いクラブ

- ・委員長と会長、幹事で話し合い、最終的には幹事がまとめる
- ・各委員会を細部に分けて担当を決める⇒会員のレベルアップ底上げが出来る

※副幹事経験後に幹事になる（流れ等の把握、事前準備・予測が出来る）

※幹事、会長が前に出すぎないように留意する

◆要望：地区補助金申請の時期を後にずらしてほしい（現：2月）…東京は4月〆切